

佐藤美枝子

ソプラノ・リサイタル

ピアノ:河原忠之 演出:岩田達宗

I PURITANI

狂

ANNA
BOLENA

響

KYO-RAN

蘭

IL PIRATA

LUCIA DI
LAMMERMOOR

Mieko Sato

〈第一部〉

ベッリーニ:

歌劇「清教徒」より 狂乱の場

歌劇「海賊」より 狂乱の場

乱

〈第二部〉

ドニゼッティ:

歌劇「ランメルモールのルチア」より 狂乱の場

歌劇「アンナ・ボレーナ」より 狂乱の場

2024. 10/12 (土) 15:00開演 紀尾井ホール
14:30開場 17:00終演予定 3:00p.m., Saturday, October 12, 2024 at Kioi Hall

全席指定 S¥7,500 A¥6,500 学生 ¥3,500 ※チケット料金には消費税が含まれております。※特別割引料金につきましては裏面をご覧ください。※先行発売などで満席となった場合は、以降発売されない場合があります。

【お申込み】 ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

◎ チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:270-518] ◎ イープラス eplus.jp ◎ ローソンチケット l-tike.com [Lコード:34038]

主催: ジャパン・アーツ

6/1 (土) 10:00~発売

ジャパン・アーツぴあオンラインチケット5月25日(土)10:00~

「挑戦するプリマドンナ」 佐藤美枝子に寄せて

ソプラノ、佐藤美枝子が、かのチャイコフスキー・コンクールで優勝してから、四半世紀が過ぎた。しかし、持ち前の声の力にも芸術性にも、「翳り」を感じさせないのがこのプリマドンナの強み。金メダリストのマラソン・ランナーのごとく、彼女の声のエネルギーは常に保たれ、いつまでも尽きないのだ。

しかし、今回のプログラムには目を剥いた。思わず、「声の、た、体力?!」と漏らしたほど。なにしろ、19世紀前半のベルカント・オペラで、至難の聴きどころの「狂乱の場」を、4作歌い通そうというのだから。再びオリンピックに譬えるなら、この名ソプラノは、42.195kmではなく84.39kmを完走するつもりでステージに挑むのかもしれない。

「狂乱の場」とは、イタリアの作曲家たちが、ソプラノの超高音と声の技を十二分に発揮させるべく発案したもの。錯乱中だから、突然の悲鳴も、乾いた高笑いも、音型の執拗な繰り返しもすべて許される。ただし、今回のベリーニ&ドニゼッティの計4作では、ヒロインを追ひ詰める「ドラマの酷さ」はそれぞれ異なっている。

まず、婚約者が失踪した乙女エルヴィーラ(《清教徒》)は、夢うつつの境地にある音楽美で絶望の思いを口にし、昔の恋人が自分の夫を死なせて処刑されるという公爵夫人イモジェネ(《海賊》)は、頼る人も愛する男も失う悲劇のダブルパンチのなか、猛烈なフレージングで自分の心を切り刻む。また、政略結婚の犠牲者ルチア(《ランメルモールのルチア》)は、平常心を失ったが故の「唐突な感情表現」を鋭く妖しい声音で表現。そして、汚名を着せられ断頭台に向かう王妃アンナ(《アンナ・ボレーナ》)は、怒りの塊と化し、歌で世を呪ってゆく。今回は、この激烈なる四大シーンを、練達のピアニスト河原忠之が盛り立てるとのこと。山の如く揺らがぬこの名手でないと、佐藤が繰り広げる「歌声の奔流」に太刀打ちできないだろう。この激闘の音楽試合に、ご来場の皆さまも体力万全で臨まれますように!

岸 純信(オペラ研究家)

佐藤美枝子(ソプラノ) Mieko Sato, Soprano

武蔵野音楽大学卒業。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第9期生修了後、イタリアに留学。留学中、第7回五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞し、1997年より(財)五島記念文化財団の奨学生としてさらに2年間イタリアで研鑽を積む。1998年、第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門で日本人初の第1位を受賞、世界の注目を集める。CDはビクターエンタテインメントより「至上のルチア」「ああ、信じられないわ〜オペラ・アリア集」など7枚をリリース。2011年3月東京(藤原歌劇団公演)、2012年9月名古屋(愛知県文化振興事業団プロデュースオペラ)においてオペラ「ランメルモールのルチア」のタイトルロールで、2015年には錦織健プロデュース・オペラ第6弾モーツァルト「後宮からの逃走」にコンスタンツェ役で出演、好評を博した。近年は「ドン・パスクアレ」「ノリーナ」「ジャンニ・スキッキ」「ラウレッタ、ブランク」「人間の声」「ラ・ボエム」「ミミ」「夕鶴」のつう、「源氏物語」の六条御所などの新役に挑戦、意欲的な活動を続けている。第9回出光音楽賞、第2回ロシア歌曲賞、第10回新日鉄音楽賞(現・日本製鉄音楽賞)フレッシュアーティスト賞、第50回ENEOS音楽賞の各賞を受賞。武蔵野音楽大学演奏学科声楽コース長・教授。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。

〈特別割引チケットのお知らせ〉

(ジャパン・アーツぴあコールセンター及びジャパン・アーツぴあオンラインチケットで受付)

学生席(社会人学生を除く公演当日25歳以下の学生が対象):当日は学生証を提示のうえご入場ください。(学生証が無い場合は一般料金との差額を頂戴します。)

車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツぴあコールセンターのみで受付)



©K.Miura

河原忠之(ピアノ) Tadayuki Kawahara, Piano

日本を代表する錚々たる歌手たちから共演者として抜群の信頼を得る、日本の「歌」を支える声楽伴奏のスペシャリスト。アルド・ブロッティ氏の伴奏ピアニストを務めた経験から紡ぎだされる幅広い音色と、イタリアで培った繊細な音楽表現には定評がある。2019年NHKニュー・イヤーオペラコンサートに出演した「太門」男声オペラ歌手4人とのユニット、IL DEVU(イル・デーヴ)のメンバーであり、指揮者、企画プロデューサーとしても活躍。

国立音楽大学卒業、同大学院修了。同大・同大学院教授、日本ヴェルディ協会理事、日伊声楽コンクール審査員。新国立劇場オペラ研修所でも音楽主任講師として長年後進の指導にあたってきた。



岩田達宗(演出) Iwata Tatsuji, Stage Director

東京外国語大学卒業。91年より栗山昌良氏に師事。98年より2年間ヨーロッパ各地で研鑽を積む。堺シテオペラでのブッチーニ作曲「三部作」、いずみホールでの「カルメル会修道女の対話」で、音楽クリティック・クラブ賞、大阪府舞台芸術賞を受賞。ザ・カレッジオペラハウスでのプリテン作曲「ねじの回転」は文化庁芸術祭大賞、「ファルスツッパ」は同優秀賞に選ばれた。佐川吉男賞、三菱UFJ信託音楽賞など受賞多数。96年五島記念文化賞オペラ新人賞、06年音楽クリティック・クラブ賞を受賞。ひろしまオペラフェスティバル芸術監督。大阪音楽大学客員教授、武蔵野音楽大学特任教授。

〈次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めくださいませ〉①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットは再発行できません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。お時間には余裕をもってお越し下さい。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。券面に記載された指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。